

松江縁の水

通水百一年千本ダム補強改修記念ボトル

放乎四海

【しかいにいたる】



中国古典孟子の一説「源泉混混、不舍昼夜（げんせんこんこん ちゅうやをおかず）—中略—放乎四海（しかいにいたる）」から、水源に湧き出した水は天下中を潤しやがて海に至るの意味で、水源の水の大切さを表した言葉。

大正七年の開業以来、百年を経た千本ダムの補強改修を行うにあたり、新たな世紀の第一歩の意味も込め定礎の言葉としてダム堤体に銘板として設置しました。

千本ダムの補強改修

現役のダムとして稼働させながら、同時に登録有形文化財の姿を保存していくため、堤体の天端から鋼線を束ねたアンカーを挿入して支持岩盤に固着させることでダムの強度を高める国内初の工法を採用しました。

松江市上下水道局

放乎四海【しかいにいたる】

経百年而復定礎（百年を経てまた礎を定める）